



名誉市民章が久美子夫人に贈られた



名誉市民章(左)と名誉市民称号記を前に、にこやかな表情を見せる橋本家の皆さん

故橋本龍太郎氏 名誉市民推たい式

11月11日

故橋本龍太郎氏の総社市名誉市民推たい式が、総合福祉センターで挙行されました。



出席者に見守られ行われた推たい式

11月11日、故橋本龍太郎氏の総社市名誉市民推たい式が、総合福祉センターで挙行されました。式には、家族や市の関係者など約60人が出席。市から、名誉市民称号記と名誉市民章が久美子夫人に手渡されました。式の途中、橋本氏の活躍をまとめた映像が流されると、会場には懐かしそうに見入る出席者の姿がありました。最後に、久美子夫人が「本人もこの会場のどこかで、喜んでいることと思います」とあいさつされました。

輝いている人

野球が私を育ててくれた



社会人野球日本選手権大会に中国地区代表として出場
倉敷オーシャンズの主力選手として活躍する

松島裕一さん(清音三因)

今年11月に開催された第33回社会人野球日本選手権大会に、社会人野球のクラブチーム、倉敷オーシャンズの主力選手として出場したのが松島裕一さんだ。

野球が始めたのは小学生のとき。野球が好きなのは小学生のとき、地元のスポーツ少年団に入団した。小・中学校は投手として活躍。高校は野球の名門、岡山南高校に進んだ。そして3年の春、監督の勧めで捕手に転向し、夏には念願の甲子園(第75回大会平成5年)出場を果たした。「そのころは、プロ野球選手になりたいと思ったこともありましたが、寝ても覚めても野球のことばかり考えていましたから」と当時のことを振り返る。

大学卒業後は、倉敷市水島にある自動車メーカーの実業団チームの捕手として活躍。日本選手権大会や都市対抗野球大会に幾度も出場した。現在所属する倉敷オーシャンズは、その実業団チームを引き継いで平成15年

に発足したクラブチームだ。松島さんは、このチームの発足当初から昨年まで主将を務め、チームをまとめ上げてきた。「最初は、野球をする環境が全く変わったのでたいへんでした。それでも、今はなんとか自分たちの実力が発揮できる体制が整いました。このチームはまだまだ強くなりそうですよ」と自信をのぞかせる。

家庭では、1歳と3歳の男の子をもつ優しい父親。「練習で家に帰るのは遅いし、県外への遠征もあります。子どもたちとは、なかなかいっしょにいてあげられません。妻にも苦勞をかけたばなしですよ」と家族のことを気遣い、「好きな野球を続けられるのも、周囲のいろんな人たちの支えがあるからです」と感謝の気持ちを忘れない。「オツケー・ナイスプレイ!」彼の明るい声は、今日もグラウンド中に元気にこだます。そして、これからもナインを引っ張り続ける。

このコーナーでは、輝いている人を募集しています。あなたの周りにキラッと輝いている人がいたら、ぜひとも広報そうじゃ編集部(企画課)までご一報ください。自薦・他薦は問いません。